

アートサポーター便り

編集：清須市はるひ美術館アートサポーター 広報チーム

シャガール、藤田嗣治 来た！

平成27年度市町村立美術館活性化事業の一環として、「エコール・ド・パリ」(パリ派)と呼ばれた芸術家たちの作品がやってきました。展覧会タイトルは「エコパリ ―パリに咲いた異邦人の夢―」です。なぜ「異邦人の夢」なのか？答えは会場で見つけてくださいね。



学芸員に聞きました。

「エコパリ」とは？

エコール・ド・パリ。パリ派と訳されています。おもに1920～30年代にパリで活動した芸術家たちの総称で、異郷の作家(パスキン、藤田、シャガールなど)やローランサン、ユトリロなどフランス生まれの作家たちが含まれています。彼らは共通の画風や様式をもっていたわけではなく、自らの感性や心情、民族性に基づいた表現を個々に追求しました。



力量のある個性溢れる芸術家の作品が並んでいます。

まるで、大相撲の力士を目の当たりにして感動した幼き日の巡業風景のようです。

主人公はあなたです。好みの芸術家を見つけて堪能してください。

きっと、ワクワクしますよ。(K.H.)

サポーター
が選ぶ

パリおすすめスポット

★オルセー美術館

「モネの《左向きの日傘の女》がステキ！」(S.S.)

★モンマルトルの丘

「白亜のサクレ・クール寺院から、パリの街が一望できます。」

(H.K.)

★凱旋門

「門の上に登ることができます。放射状に広がる道路の眺めは壮観！」(K.I.)

★リュクサンブール公園

「なんと自由の女神像(アメリカにあるものよりも小さなサイズ)が見られます。」(T.T.)



■アートサポーターは、清須市はるひ美術館の運営をサポートしながら、仲間たちと一緒に楽しくアートに親しんでいるボランティアグループです。イベント企画チーム・美術館運営チーム・広報チームに分かれ活動しています。今回は広報チームの活動を紹介します。

■広報チームの一番の仕事は、この「アートサポーター便り」の編集・発行です。これまでに3回発行しました。毎回メンバーで取り上げるトピックスを話し合い、記事を書いて紙面を作っていきます。

【編集後記】

これからも「アートサポーター便り」で美術館の情報を発信し、多くの方に来館していただけるよう頑張ります。

2階オープン展示室では参加型コーナー「ピンナップ・パリマップ！」を常時開催。皆さんのパリおすすめスポットやミニエピソードを教えてください！